

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和5年5月19日 ~ 令和6年3月31日		作成者	鈴木 悠平
作業名称	トンネル監査路手摺支柱取替工	作業手順書	作成年月日	令和4年9月2日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	4tユニック(2.9t吊り)、2トラック、ライトバン		改正年月日	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	ディスクサンダー、石頭ハンマー、ハンマードリル、インパクトドライバー		現場責任者	
			協力会社	会社名 -
保護具	ヘルメット、手袋(刃物作業時は耐切創用)、保護メガネ、飛散防止ネット、夜間チョッキ、脚絆		協力会社責任者	自筆サイン -
			作業順序	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準 特)の区別を記す	自動車運転免許証(中型含む)、振動工具(特)		1	現地確認
	玉掛け技能講習、小型移動式クレーン運転技能講習		2	準備作業
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 5人、保安員 2人		3	資材搬入
	合計 8名		4	手摺支柱撤去
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	5	アンカー設置
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)		令和4年9月2日	6
			7	後片付け
			8	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	(誰が)	主なステップ	作業のポイント						
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。						
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認・動線の確認							
作業ヤードの確認 (責任者、作業員、保安員)	作業開始前に、作業現場 周辺のヤードをカラーコーン、コーンバーにて仕切る	通行帯に支障をきたさない 作業ヤードの確認	動線を塞ぎ、通行帯に支障をきたす	△	△	△△	3		作業前に動線をしっかりと確保し、通行帯にはみ出さない
資機材搬入 (責任者、作業員)	主材料の搬入をユニック クレーンを用いて搬入・移動 する	玉掛作業及びクレーン作 業時の作業範囲の確認	構造物及び作業員との接触。 玉掛け作業不備に伴う積み荷の落下。	△	×	△×	4		作業前に有資格者の確認。旋回範囲の確認を実施し定格荷重以下の作業を実施する。
手摺支柱撤去 (責任者、作業員)	手摺支柱のボルト、ナットをイ ンパクトドライバーを使用し撤 去し、支柱を撤去する。	手元注意、落下注意	インパクトドライバーで誤って手を損傷させる	△	△	△△	3		保護手袋を着用し、手元を明るくし作業する。
	既存のアンカーボルトを ディスクグラインダーで切 断し、防錆処理を行う。	手元注意、落下注意	ディスクグラインダーで誤って手を損傷させる	△	×	△×	4		手元を明るくし作業する。
アンカー設置 (責任者、作業員)	アンカー設置箇所にマーキ ングを行う	設置位置の確認							
	ハンマードリルを使用し マーキング位置を削孔す る。	手元注意、落下注意	ハンマードリルで誤って手を損傷させる	△	×	△×	4		手元を明るくし作業する。
	石頭ハンマーを使用しアン カーを打ち込む	手元注意、落下注意	石頭ハンマーで誤って手を打つ	△	△	△△	3		保護手袋を着用し、手元を明るくし作業する。
支柱設置 (責任者、作業員)	手摺支柱のボルト、ナットをイ ンパクトドライバーを使用し支 柱を設置する	手元注意、落下注意 締め忘れ注意	ボルト、ナットを閉め忘れる						
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							
									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事